

**BRIDGESTONE**

あなたと、つぎの景色へ

## 2015 知的財産報告書

### Intellectual Property Report



# **C**ontribution

---

1 ごあいさつ 1

2 2015年の知的財産活動の重点課題 2

3 知的財産の事業への貢献(具体例) 3

4 リスク対応情報 6

5 社外表彰 7

6 トピックス 9

資料 10

会社概要 11

# 1 ごあいさつ

2014年の当社グループを取り巻く環境は、年度後半にかけて急激な円安及び原油価格の下落が進行する中、国内においては、景気は、経済・金融政策の効果などを背景に緩やかな回復基調が続きましたが、消費税引上げ後の需要の持ち直しの鈍さなどもあり、不透明感のある中で推移しました。海外においては、景気は、不透明ではあるものの、全体としては弱い回復が続きました。このような状況のもとで、当社グループはグローバルで高い競争力をを持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。

今後につきましては、当社グループを取り巻く環境が、政治・経済・環境・技術革新といったあらゆる面で大転換期にあり、社会構造や消費者意識もこれまで以上に大きく変化していくと認識しております。こうした中、当社グループは企業理念を事業活動の基盤とし、経営の最終目標である「眞のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成を目指してまいります。この目標を達成するため、「Lean(無駄のない)& Strategic(戦略的な)」及び「グループ・グローバル最適」という基本姿勢を堅持し、「SBU(戦略的事業ユニット)組織体制」及び「中期経営計画」をツールとし、経営改革を継続してまいります。さらに、「グローバル企業文化の育成」「グローバル経営人材の育成」「グローバル経営体制の整備」の3点を重点課題として事業運営に取り組んでまいります。

次に当社グループの知的財産活動についてご説明いたします。

現在、知財界自体も大きな変革期にありグローバルでさまざまな制度改革が起こっています。その中で、当社グループは、知的財産を企業経営を支える重要な経営資源として位置付けており、企業価値の最大化に貢献する知的財産活動の基本方針として、次の4つの取り組みを掲げております。

1. グループ全体で知的財産権の最適な管理体制を整備・推進すること
2. 知的財産の「創造」・「保護」・「活用」という知的財産サイクルを循環させること
3. 知的財産のリスクを最小化することにより、事業へ貢献すること
4. 知的財産情報を戦略的に活用すること

この基本方針に基づき、今後は単なる商品や技術単体のみならず、サービスやソリューションも含めた事業そのものを新たな知的財産の仕組みの中で保護し活用できるよう、より一層先進的な取り組みを進めてまいります。

本報告書を通じて、皆さまに当社グループの知的財産活動に対するご理解を更に深めて頂ければ誠に幸甚です。

株式会社ブリヂストン  
代表取締役 CEO 兼  
取締役会長  
津谷 正明

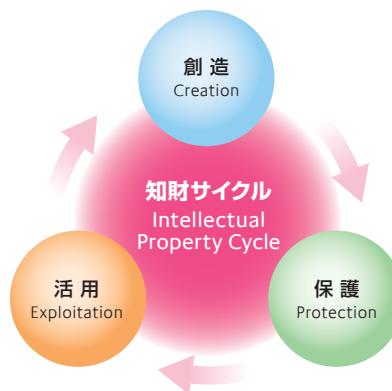


# 2

## 2015年の知的財産活動の重点課題

当社の知的財産本部では、先述した基本方針に基づき、真に経営に貢献する知財を目指すため、以下の5点を2015年の重点課題として戦略的な知的財産活動を推進してまいります。

### □ 知財サイクル



### (1) グループ・グローバルの最適化、連携強化促進

グループ・グローバル全体の知的財産活動を、事業・技術・イノベーションに係る全社戦略と、より整合性のあるものにするべく、グループでの知的財産ガバナンスを強化いたします。また、グループ会社の知的財産活動の向上策により、グループ・グローバルの連携を強化してまいります。

### (2) 特許出願・権利化のあるべき姿化に向けた施策

知財ポートフォリオのあるべき姿を最終的な目標として意識しつつも、経営資源の有効な活用という視点からLEANで、かつ大きな効果を生む出願・権利化を推進してまいります。

### (3) 知的財産リスクの最小化と自社権利活用の最大化促進

国内外の知的財産分野の新たな動向を踏まえ、知的財産リスクの最小化と、自社権利活用の最大化を推進いたします。他社知的財産権への侵害の未然防止を徹底し、自社の知的財産権は断固とした権利行使をし、知財尊重の姿勢を堅持いたします。

### (4) 知的財産情報の発信力強化

事業・技術戦略と整合した知的財産活動を更に推進するために、周辺情報の収集・解析による効率的な知的財産情報の発信と戦略提案を行うことに努めております。社内的には開発の方向性への示唆を与える戦略的な知財情報の発信力を強化し、イノベーションの促進に寄与していくと共に、社外的にも適切な内容で当社知的財産活動成果の発信に努めてまいります。

## (5) 営業秘密漏洩防止強化策の更なる促進

当社グループでは、全社的な機密情報漏洩防止体制の再構築に取り組んでおります。2012年より知的財産本部を事務局とした人事・法務・IT・経営企画部門による作業部会を作り、情報管理の対策強化・実施に向けて活動しています。2013年に確立した機密情報管理の仕組みの徹底を図り、グループ全体への展開を更に推進いたします。

# 3 知的財産の事業への貢献（具体例）

ここでは、2014年の知的財産活動の具体例として、乗用車用タイヤ「REGNO GR-XI」を、戦略的知的財産活動の事例としてご紹介いたします。

### 乗用車用タイヤ「REGNO GR-XI」

当社は、「REGNO GR-XI」を2015年2月に発売いたしました。「REGNO」は1981年の発売以来、静肃性や乗り心地、運動性能などを高次元でバランスさせた、当社を代表するブランドのひとつです。

#### □ 「REGNO GR-XI」



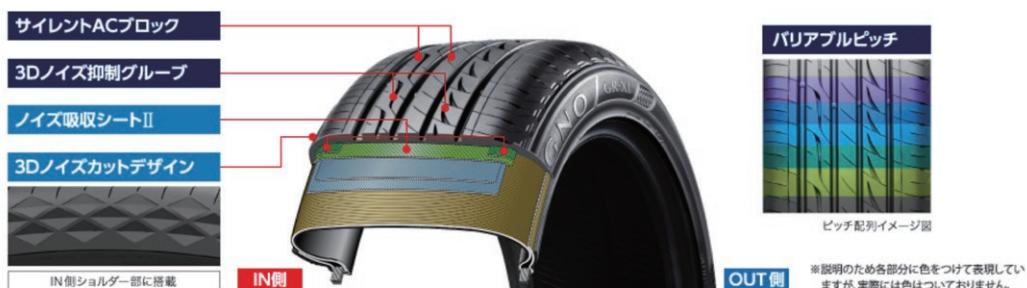
#### ■サイドデザイン

タイヤのサイドには、古来からその形が美しく、縁起物とされてきた“分銅彫り(ふんどうつなぎ)”を立体的に進化させた模様をデザイン。



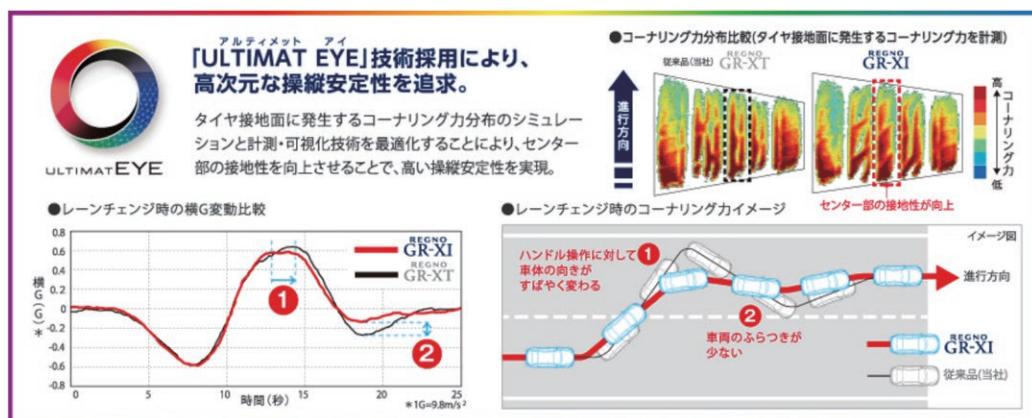
「REGNO GR-XI」は、滑らかな路面から荒れた路面まで"路面ごと"に異なる「気になりやすいノイズ」を低減する新技術を搭載いたしました。タイヤ踏面部の溝の中で発生したノイズを低減する「ダブルプランチ型消音器」や路面からの振動を抑え車内へのノイズの伝わりを抑制する「ノイズ吸収シートII」により、従来品と比べ騒音を低減し<sup>1</sup>優れた静謐性を実現しています。

□ 高い静謐性を実現するサイレントテクノロジー



更に当社独自技術「ULTIMAT EYE (アルティメット アイ)<sup>2</sup>」を駆使し、車種別に異なる、タイヤに求められる性能を高次元でバランスさせています。「GR-XI」はタイヤ接地面に発生するコーナリング時の力を計測し、その結果を基にセンター部の接地性を向上させることで、高い操縦安定性を実現しています。これにより、静謐性を犠牲にすることなく、車両のふらつきを最小限に抑えることで優れた乗り心地を実現しています。

□ 「ULTIMAT EYE (アルティメット アイ)」



1) 「GR-XI」の従来品「GR-XT」ととの比較

2) 最先端のシミュレーション技術と、踏面部のバタン接地力分布の計測・可視化技術の組み合わせにより、最適なタイヤ設計を実施するプリヂトンの独自技術（特許出願中）

当社は重要な技術及び製品に関して、知的財産部門と開発部門が連携を取りながら知財DR（デザインレビュー）活動を行っております。

知財DR活動とは、開発初期から商品販売までの開発スケジュールに即して上述の両部門が会議体を通じ、知的財産に関わる情報共有や施策の立案を行うことを指します。具体的には、開発初期の段階から商品コンセプトや搭載予定の技術要素に基づき、開発スケジュールに沿って出願・権利化の計画や第三者への特許への対応策を策定いたします。その計画や対応策を両部門で情報共有し、必要に応じて適宜見直しを行いながら、これらの活動を繰り返し、両部門が一体となつた知的財産活動を進めております。

質の高い特許等を多数出願・権利化し、製品の差別化に貢献すると共に、常に知的財産リスクの最小化に努めています。

このような知的財産活動に基づき、2014年末時点で、「REGNO GR-XI」に関連する特許を日本・米国・欧州において約30件出願し、「REGNO」に関連する商標を日本において3件保有しております。

□「REGNO」広告



# 4

## リスク対応情報

当社グループでは、知的財産を企業の競争力を高めるための重要な経営資源と位置付けております。

第三者による知的財産権侵害があった場合には、当社グループの製品差別化や競争優位性が確保されない等のリスクが想定されます。また、仮に当社グループの認識または見解との相違から、第三者より知的財産権を侵害したとして訴訟を受け、製造販売中止あるいは損害賠償などが必要になった場合には、当社グループの業績及び財政状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

従って、第三者の知的財産権に対する侵害の予防、保有している多数の知的財産権の保護に努めております。

知的財産権侵害に対する当社グループの対応事例をご紹介いたします。

### 中国で商標権侵害訴訟に勝訴

当社グループは、自他商品の識別標識としてブランドを示す文字・図形・記号等を知的財産として保護するため、商標権を取得しております。

当社の登録商標である「BRIDGESTONE」に類似したロゴを使用してタイヤを製造・販売した行為が商標権侵害に該当するとして、タイヤ製造販売業者を2010年10月に深圳市中級人民法院に提訴しておりました。一審での当社の勝訴判決の後、相手方は広東省高級人民法院に控訴しましたが、2013年12月に当社の主張が認められたことにより控訴が棄却され、当社の勝訴判決が確定しました。

### 中国で意匠権侵害訴訟に勝訴

当社グループは、研究活動の結果得られる独自の優れたデザイン等を知的財産として保護するため、意匠権を取得しております。

当社は、当社が自動車用タイヤについて意匠権を持つトレッドパターン<sup>3</sup>を使用し、トラック・バス用のプレキュアトレッド<sup>4</sup>を製造・販売した行為は意匠権侵害に該当するとして、タイヤ製造販売業者2社を2011年9月に中国河南省鄭州市中級人民法院に提訴しておりました。その結果、2014年10月に上訴審でプレキュアトレッドの製造・販売行為について初めて、自動車用タイヤの意匠権に基づく間接侵害<sup>5</sup>となることが認められ、河南省高級人民法院にて当社の勝訴判決が確定しました。

当社グループは、知的財産権に対する侵害行為に真摯に対応することで、お客様に安全・安心を提供することを最優先とし、今後ともブランド価値の維持・向上を図ってまいります。

3) タイヤが路面と直接接する部分に刻まれている溝の模様です。

4) 「あらかじめ加硫してあるトレッド（接地面）ゴム」のことで、リトレッドタイヤの部材に用いられます。

5) 日本では意匠法第38条に定められています。意匠権の対象となる物品全体の実施に至らない場合でも意匠権侵害を誘発する蓋然性が極めて高い一定の行為については、これを意匠権侵害にあたるものとみなし、禁止しています。

# 5 社外表彰

## 第11回日本知財学会「産業功労賞」受賞

当社は、一般社団法人日本知財学会の第11回「産業功労賞」を受賞いたしました。

産業功労賞は2004年に創設され、産業の発展に寄与する目的で、毎年、知的財産の観点で顕著な業績があった企業を表彰するものです。

この度、当社は、グローバルな知的財産戦略によって企業価値・ブランド価値の維持・向上を図り、社会に高品質な製品を提供する企業としての責任を果たしていることが高く評価されました。

主な受賞理由は、以下の通りです。

### 1. グローバル知財戦略

特許と意匠を組み合わせた高度な知財戦略を日本・欧州・米国を初めとする世界に向けて展開していること

### 2. 適切な模倣品対策

積極的に海外出願を行うとともに海外の模倣品や侵害品に対して適正な対策を講じていること

当社グループは、知的財産を企業経営を支える重要な経営資源として位置付けており、今後も企業価値の最大化に貢献する知的財産活動を推進してまいります。

#### □ 表彰式



#### □ 表彰楯



グッドデザイン賞<sup>6)</sup>受賞

当社グループの5つの商品が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2014年度「グッドデザイン賞」を受賞いたしました。当社グループは、これまで185件のグッドデザイン賞を受賞しており、1997年からは18年連続で受賞しております。

当社グループは、知的財産権を効果的に活用することで、独自の優れた技術やデザイン等を知的財産として保護し、当社グループのブランド価値の維持・向上に努めてまいります。

## □ 当社グループの2014年度「グッドデザイン賞」受賞商品



 <p><b>ECOPIA EX20</b></p> <p>乗用車用ラジアルタイヤ 「ECOPIA EX20 シリーズ」</p> <p>優れたウェット性能とロングライフ性能を実現し、高い耐摩耗性も兼ね備えた低燃費タイヤ。多様化する車種カテゴリーごとに専用設計を施し、それぞれの車種で発生しやすい偏摩耗を抑制、タイヤを長くご使用いただくことも追求しています。</p>	 <p>自転車「bikke2・HYDEE.II用 フロントチャイルドシート」</p> <p>3人乗りの子供乗せ自転車「bikke2」「HYDEE.II」に装着可能な専用フロントチャイルドシート。北欧インテリアをモチーフにデザイン性を追求しています。お子様の成長にあわせてヘッドレストの位置が調整可能です。</p>	
 <p><b>自転車「BWX」</b></p> <p>「自転車でアソベ！」をテーマに、軽量オクタゴンアルミフレームと2.4インチの極太ファットタイヤを搭載したジュニア用プレイバイク。乗って楽しい走行フィーリングと走破性を実現しています。</p>	 <p><b>SCHLEIN</b></p> <p>「走りの進化」をテーマに、軽量アルミフレームと7段変速ギヤを搭載し、軽やかでスピーディな走行性能を実現したジュニア用スピードクロスバイク。少し大人な格好良さを演出しています。</p>	 <p><b>自転車「HELMZ SSSD」</b></p> <p>2010年誕生、新たに開発した新機軸の街乗りスポーツバイクブランドに、高速巡航とタフでクリーンなカーボンベルト駆動システムを搭載したモデル。上質な走りをローメンテナンスで体感できます。</p>

6) 「グッドデザイン賞」は、1957年に通商産業省（現経済産業省）によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、1998年より公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザインの推奨制度です。

# 6

## トピックス

### 「BRIDGESTONE GOLF」

ブリヂストンスポーツ株式会社は、2014年9月に「BRIDGESTONE GOLF」ブランドを日本を始め世界で展開いたしました。

これまで地域や商品ごとに展開していたブランドを、ゴルフ事業においては「BRIDGESTONE GOLF」をメインに訴求し、グループ力のシナジーを活かして強固なものにしてまいります。

従来のユーザーだけでなく、これまで異なる分野でブリヂストンブランドを認知していた多様な方々にも広げ、ゴルファーひとりひとりに対応できる商品企画開発を行ってまいります。

#### □ ブリヂストンゴルフ商品



当社グループでは、グローバルでの理解と存在感ある「顔の見える」ブランド、"真のグローバルブランド"の確立を目指しております。

統一・明文化されたブランドがもたらす価値を、整合性のあるメッセージとして、一貫したトーン&マナーで市場に浸透させるべく活動を展開してまいります。

#### □ ブリヂストンシンボル

**BRIDGESTONE**

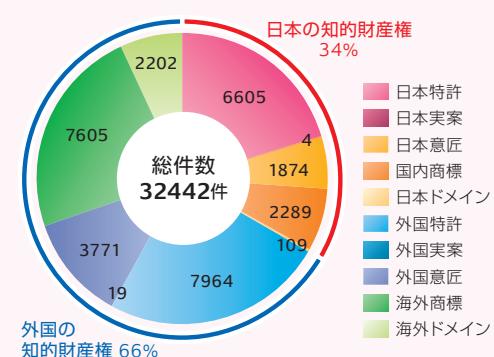


## 資料

### □ 組織図



### □ 知的財産権の総数(当社グループ会社<sup>※</sup>)



### □ 特許公開件数の推移 (当社グループ会社<sup>※</sup> 日本・米国・欧州、2010年～2014年)



### □ 当社特許権の活用状況

	タイヤ	多角化商品	合計
日本特許	3799	2023	5822
実施中	1700 (44.7%)	769 (38.0%)	2469 (42.4%)
その他 <sup>※</sup>	2099 (55.3%)	1254 (62.0%)	3353 (57.6%)
外国特許	4759	1273	6032

※ 将来実施予定特許、防衛特許等を含む。  
単体、2014年12月31日現在

### □ 特許登録件数の推移

#### (当社グループ会社<sup>※</sup> 日本・米国・欧州、2010年～2014年)



※(株)ブリヂストン、ブリヂストンサイクル(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、ブリヂストンフローテック(株)、  
旭ガーボン(株)、Bridgestone Americas, Inc., Bridgestone Europe NV/SA  
2014年12月31日現在

## 会社概要

社名	株式会社ブリヂストン(BRIDGESTONE CORPORATION)		
本社所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号 〒104-8340		
代表者	代表取締役CEO 兼 取締役会長 津谷 正明		
設立	1931(昭和6)年3月		
資本金	1,263億5,400万円		
従業員数	14,248名 <sup>*</sup>		
連結従業員数	144,632名 <sup>*</sup>		
主な事業内容	事業区分	内容	
	タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、建設・鉱山車両用、産業車両用、農業機械用、航空機用、二輪自動車用のタイヤ・チューブ、タイヤ関連用品、リトレッド材料・関連技術、自動車整備・補修、タイヤ原材料 ほか	
	多角化	(化工品) 自動車関連部品、ウレタンフォーム及びその関連用品、電子精密部品、工業資材関連用品、建築資材関連用品 ほか (BSAM多角化) BRIDGESTONE AMERICAS, INC. が統括する屋根材事業 ほか (スポーツ用品) ゴルフボール、ゴルフクラブ、その他スポーツ関連用品 ほか (自転車) 自転車、自転車関連用品 ほか (その他) ファイナンス ほか	
主な連結子会社、関連会社			
	ブリヂストンタイヤジャパン(株)	ブリヂストンリテールジャパン(株)	
	ブリヂストン化成品(株)	ブリヂストン化工品東日本(株)	
	ブリヂストン化工品西日本(株)	ブリヂストンスポーツ(株)	
	ブリヂストンサイクル(株)	ブリヂストンファイナンス(株)	
	BRIDGESTONE AMERICAS, INC.	BRIDGESTONE AMERICAS TIRE OPERATIONS, LLC	
	BRIDGESTONE RETAIL OPERATIONS, LLC	BRIDGESTONE BANDAG, LLC	
	BRIDGESTONE CANADA INC.	BRIDGESTONE DE MEXICO, S.A. DE C.V.	
	BRIDGESTONE FIRESTONE VENEZOLANA, C.A.	BRIDGESTONE DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.	
	BRIDGESTONE ARGENTINA S.A.I.C.	BRIDGESTONE EUROPE NV/SA	
	BRIDGESTONE DEUTSCHLAND GMBH	BRIDGESTONE POZNAN SP. Z O.O.	
	BRIDGESTONE UK LTD.	BRIDGESTONE FRANCE S.A.S.	
	BRIDGESTONE ITALIA S.P.A.	BRIDGESTONE HISPANIA S.A.	
	普利司通(中国)投資有限公司	BRIDGESTONE ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
	THAI BRIDGESTONE CO., LTD.	BRIDGESTONE TIRE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.	
	P.T. BRIDGESTONE TIRE INDONESIA	BRIDGESTONE AUSTRALIA LTD.	
	BRIDGESTONE MIDDLE EAST & AFRICA FZE.	BRIDGESTONE SOUTH AFRICA (PTY) LTD.	
	BRIDGESTONE C.I.S. LLC	BRIDGESTONE EARTMOVER TYRES PTY. LTD.	
	FIRESTONE POLYMERS, LLC	BRIDGESTONE NATURAL RUBBER (THAILAND) CO., LTD.	
	FIRESTONE BUILDING PRODUCTS COMPANY, LLC	BRIDGESTONE TREASURY SINGAPOLE PTE. LTD. ほか	

□ 売上高



□ 当期純利益



※ 2014年12月31日現在

## 株式会社ブリヂストン

広報部

東京都中央区京橋3-1-1 〒104-8340  
電話 (03)6836-3333 FAX (03)6836-3184  
<http://www.bridgestone.co.jp/>

201504